

生きた伝統を継承したい



宮島では、江戸時代からさまざまな木工細工（宮島細工）が発達しました。杓子や宮島彫りと並んで、宮島細工を代表するのが「ロクロ細工」です。

現在は玖島に拠点を移し、ロクロ細工の伝統的技術・技法の継承および向上に貢献している、伝統工芸士の佐藤満さんが、平成30年度伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰功労賞を受賞しました。受賞に対し、佐藤さんは「嬉しいゆうてありがたくて、幸せが胸に入り切りました。」「と喜びを語ってくれました。

味わい深い木目や木地で魅了するロクロ細工の制作に関して、「木は自分の思いを主張するの

で、木の力と削っていく力を合わせながら削らせてもらいます」「どんな形が木に一番似合うんだろうか考えます」と職人ならではの思いを話してくれました。

時代とともに生活様式が変化してきたことを受けて、昔の香入れも現在はアロマセラピーに利用するなど、「作ってばかりでなく、本来の用途以外にもこういう使い方もありますよ、と呼び掛けをしてみることが出てきたんじゃないかと思えます」と話す佐藤さん。今後は芸術作品だけではなく、原点に返り、湯飲みや茶わんなどの日常生活に欠かせないものを見直そうと考えているそうです。「一

般の人にも自分の器を自分で作って使うことの楽しさを感じてもらいたいと、また、そこから育つてこの仕事に就く人が出てくればと、それをバックアップしていきたいです」と、88歳となった今もロクロを回す佐藤さんは、伝統を継承していくための意気込みを語ってくれました。



2次元コードから佐藤さんのインタビュー動画を見ることができます。1月1日(祝)に掲載するのでぜひご覧ください。



11月29日に市役所で行われた表彰状伝達式



手掛けた作品たち



ロクロを用いた作業風景

はつかいら人 vol.36

廿日市市で輝く人を紹介します

伝統工芸士（ロクロ細工） 佐藤 満さん

編集後記

あけましておめでとうございます。今年の干支は亥。亥は猪には、猪突猛進のたくましい印象がありますが意外なことに亥は守りの年といわれるそうです。十二支の中で最後の干支であり、次の「子」の年にしっかりと生まれ変わることができるよう、パワーを蓄える1年と考えられています。猪とは逆に落ち着いて穏やかに、そして知識を蓄える1年にしていきたいと思います。

蒔谷 里香

「はつかいら人」の佐藤さんの取材に伺ったとき、陶芸のように下がクルクル回るロクロを想像していた私に、正面に回転台が付いていたことにまず驚きました。佐藤さんのお弟子さんたちにも親切にしていたので、市民の皆さんの協力なしでは作れないと改めて感じた「広報はつかいち」。今年は周囲になるべく迷惑をかけないように取り組みたいです。

田坂 尚子

人のうごき

前月比

総人口	117,435人	(+ 4)
男	56,412人	(+ 1)
女	61,023人	(+ 3)
世帯	51,857世帯	(+35)

(平成30年12月1日現在、外国人を含む)

電話での問い合わせが難しい人は
☎0829⑩1059

目の不自由な人のための
音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版を
ホームページに掲載しています。
「広報はつかいち」のウェブサイト、データベース、
点訳本があります。問い合わせ 社会福祉協議会 ☎0294

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
編集 分権政策部 経営政策課 広報統計グループ
☎0829⑩0001(代)・☎0829⑩1059
ホームページアドレス https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス https://www.facebook.com/hatsukaichicity